

令和3年度 自主防災隊7月例会



コロナ禍だが
できることを
粛々と進めましょう
(星野隊長)

自主防災隊7月例会は10日、つくし野コミュニティセンターで開催され、星野耕一防災隊長のご挨拶に続き13名のメンバーが今後の活動について活発な意見と話し合いがもたれました。

① 秋の総合防災訓練について

先日の4自治会の会合で、11月の総合防災訓練は難しいとの見方がある中、「安否確認」については1・2丁目自治会単独でも行う方向で、改めて9月に検討することになりました。

また、「つくし野小学校での避難施設開設訓練」は4自治会で開催する方向で防災担当者を中心に参加人数を縮小して11月21日(日)の予定で実施が検討されている。

② スタンドパイプ訓練について (AEDも)

コロナ緊急事態宣言終了時に訓練を実施できるかどうかという意見がある。スタンドパイプは現在4台が設置され、多いときは訓練に60名の参加があった。ホースや器械の状態を確認することも兼ねての訓練で、年1~2回は実施すべきであること。実施時は消防署に届け協力が必須で、警察に道路使用届を出す必要もある。備え付けの消火器と共に「初期消火」に使われるものです。いつも消防署の指揮下でやるのか? 運用を明確にすべきである。「習うより慣れろ」の精神で、まず訓練で触って操作(放水)することが大事です。AED訓練は室内訓練となるのでワクチン接種の状況を踏まえて検討する。

③ 避難施設開設ワーキンググループ報告について

4自治会が動きやすいように市のマニュアルに補足して作成中。どういう形で印刷して住民の皆様に配布するか検討中。(渡辺本部長)

④ その他

・町田市より「合同避難施設関係者連絡会議(8/23~27の間)」に参加要請があり、渡邊本部長、奥見副本部長、齧島防災部長の三名が出席を予定する。(その後に、緊急事態宣言に伴い、延期の見込みとなり再度連絡待ちとなった。)

・防災部予算でOKプレートに貼る「無事です(シート)」を購入検討する。

以上

(文・写真：細見)